

「高知紀行 (最終回)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



宿毛では買えなかったおみやげを買おうと、須崎の「道の駅」に寄りました。このあたりにはかつて「ニホンカワウソ」が生息していました。「かぼそ」という妖怪の正体も「カワウソ (獺)」とされています。



「素掘り」のままのトンネルが残っています。安全に停車できれば、このまますばらしい露頭の観察ができます。本州ではもうほぼ見られないトンネルです。



最後に、仁淀川 (によどがわ) の河口に行きました。転石の観察をする為です。仁淀川は愛媛県の石鎚山付近を源流とし太平洋に注ぐ、吉野川、四万十川に次ぐ、四国第三の一級河川です。水質は全国一とされます。



すでに絶滅したのにキャラクター化され、ぬいぐるみその他のグッズをたくさん売っていました。



流域は堆積岩、火成岩、変成岩などから成る岩相の、非常に複雑な地質なので、火口付近の転石も誠に多彩です。緑色片岩、黒雲母片岩、石墨片岩などの色とりどりの変成岩も見られ、石ひろいのロケーションとしては、大変すばらしいと思いました。



帰りは幹線国道を通らず、内海沿いの田舎道を通りました。池のように静かな海面でした。



この日はあまり時間もなかったので、仁淀川河口にあるドライブインでお弁当を買って食べました。これで500円は安いなあ～と思いました。



帰りの全日空機からは、高知の海岸線がよく見えました。「心霊写真」で有名な室戸岬を見たかったのですが、雲の中で見えませんでした。



レンタカーを返して空港に戻りました。空港入口にある立像は龍馬だと思いましたが、これは吉田茂でした。吉田茂は高知県宿毛市出身の政治家・竹内綱（たけうちつな）の子です。「吉田茂は宿毛出身」とも言われますが、正確には出生は東京神田駿河台です。



高知龍馬空港には、豊富なお土産を扱った店があります。職場へのおみやげはもう買ってあったので、ここでは「土佐特産品」を爆買いして、レジの宅急便で埼玉の両親に送りました。便利な時代ですね。



かわりに「御前崎」が見えました。思ったよりも先端部が曲がっています。全日空機は予定通りに羽田空港に到着し、高知出張旅行は終了しました。皆様、約2週間の「ご清聴」ありがとうございました！

【旅行記恒例！旅行データです】

- ・利用した乗り物；丸ノ内線（2回）、JR 山手線（2回）、東京モノレール（2回）、旅客機（2回）、高知空港バス、土佐電路面電車、JR 四国～土佐くろしお鉄道特急「しまんと号」、レンタカー、宿毛市連絡船（2回）、沖の島の宿毛市の車、徒歩
- ・利用しなかった乗り物；馬、牛車、きんとん雲
- ・総移動距離；約 1,600km（エチオピアのアジスアベバ～ケニアのナイロビ間に相当）
- ・加齢；1歳（旅行最終日に60歳→61歳）
- ・訪問県；高知県のみ
- ・訪問した学校；2校（正確には3校）
- ・宿泊；3泊（宿毛市2泊、黒潮町1泊）
- ・遭遇した動物；野生のイルカ、カモメ、ネコ
- ・遭遇しなかった動物；イノシシ、カワウソ、キョン
- ・採取した岩石；花崗岩、花崗閃緑岩、付加体堆積岩